

## 信じよう、子供の力！



今年の桜は、例年に比べて開花が遅く、入学式は、きれいな桜の花びらの舞う中で行われたのではないのでしょうか。

ご入園・ご入学おめでとうございます。式に参列されたお父さん、お母さんは、我が子の成長した晴れ姿に胸を熱くされたことでしょう。

家事や仕事が忙しく、ゆっくり子供を見つめるゆとりがないだけに、なおさら我が子の屈託のない姿を目の前にすると、何とも言いようのない気持ちが胸に迫ります。この気持ちこそ、子育てならではの親の大きな喜びでしょう。子供がいて良かったと思う幸せなときでもあります。

4月は、子供も親も新たな気持ちになれるよい機会です。「どんな先生に習うのかな」とか「〇〇をがんばろう」とか、親子ともにワクワクした気持ちになれたのではないのでしょうか。

新年度が始まり、元気はつらつ登校する子供についてはさほど心配はないのですが、子供の様子を見守ることは大切です。

また、登園・登校が始まったばかりなのに、何か浮かぬ顔をして、家を出る子供もいます。新たな園生活や学校生活になかなかなじめず、心配や不安が生まれたのかもしれませんが、子供は、自分の思うようにならなくても、柔軟性があり、次第に環境になじんでいくものですが、一番身近にいるお父さんやお母さんが子供の気持ちを理解しておくことはとても大切なことです。

子供の不安や心配などは、目に見えないだけに、とても分かりにくい上、見逃しやすいものです。気になるときは、お父さんお母さんが、子供と向き合うことが大切です。親に話を聞いてもらうだけでも、子供は安心し、元気になる場合がよくあるものです。

話を聞いていると、子供のささいな表情や話しぶりなどから、不安などの気持ちが分かるでしょう。そのとき、子供自身の力で解決できるものなのか、手助けしなければならないのか、親が判断しなければなりません。

子供が自分の力で解決できることは、子供自身にさせたいものです。その経験は、成長するための大切な力になるからです。

けれども、子供が成長するとともに子育ても大変になってきます。「子育て」は、手間がかかったり、思うようにならなかったり、疲れたりすることもあります。その苦労があるからこそ、子どもへの愛情が次第に膨らみ、親の喜びもひとしお大きくなるのではないのでしょうか。成長する我が子の姿が、その疲れを癒してくれ、励ましてくれます。その思い出は、生涯の宝物になることでしょう。

意気込まず、よその子供と比べず、その子供自身の日々の成長を見つめ、ほめて一緒に笑いましょ。

